# 大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2022年第50週(12月12日~12月18日)

#### 今週のコメント

~新しい生活様式の実践~ 手洗い、マスク着用、身体的距離の確保、密閉・密集・密接の回避が重要

## 定点把握感染症

「感染性胃腸炎とインフルエンザ 増加続く」

第50週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,205例であり、前週比0.2%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、手足口病、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、突発性発しんの順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.14、0.62、0.38、0.33、0.19である。

感染性胃腸炎は前週比12%増の812例で、大阪市西部5.90、大阪市南部5.50、南河内5.38、豊能4.96、堺市4.37であった。

手足口病は33%減の122例で、南河内2.06、堺市1.00、北河内0.92である。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は10%減の74例で、中河内0.80、大阪市南部0.67、泉州0.47であった。 ヘルパンギーナは20%減の64例で、泉州0.79、大阪市東部0.67、北河内0.64である。

インフルエンザは26%増の245例で、定点あたり報告数は0.82であった。堺市2.59、大阪市北部1.10、大阪市西部0.93である。

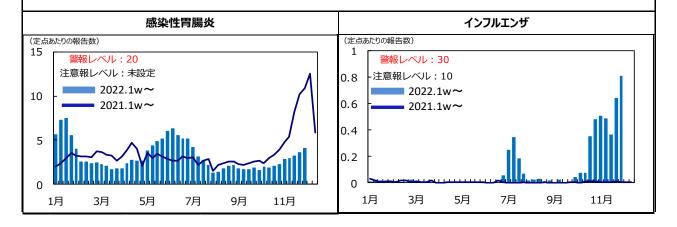


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2022年第50週12月12日~12月18日)

第50週 の順位	第49週 の順位	感染症	2022年 第50週の 定点あたり 報告数	前週比増減	2021年 第50週の 定点あたり 報告数	2022年第50週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	4.14	12%増	10.70	1歳_15%
2	2	手足口病	0.62	33%減	1.38	1歳,2歳_32%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.38	10%減	0.44	3歳_16%
4	4	ヘルパンギーナ	0.33	20%減	0.24	2歳_28%
5	5	突発性発しん	0.19	26%減	0.25	1歳_49%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.82	26%増	0.00	10-14歳_21%

突発性発しんについて、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。2022/23年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

### 第50週のコメント

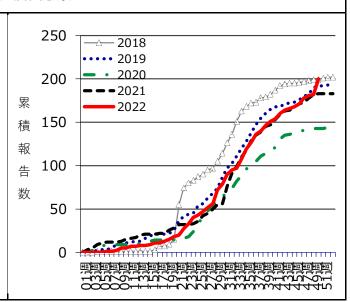
〜腸管出血性大腸菌感染症〜 食肉・食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です

# 全数把握感染症

#### 腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ベロ毒素を産生する大腸菌で、代表的なものはO(オー)157、O26、O111がある。汚染飲食物を介する経口感染がほとんどで、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群を起こす場合がある。3-5日の潜伏期をおいて、激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に、血便となる(出血性大腸炎)。発熱は軽度で、多くは37℃台である。有症者の6-7%では、発症数日後から2週間以内に、重症の溶血性尿毒症症候群を発症する。初夏~初秋は腸管出血性大腸菌感染症の報告が増加することから、十分注意が必要です。

腸管出血性大腸菌感染症 (大阪健康安全基盤研究所) 腸管出血性大腸菌感染症とは(国立感染症研究所)



### 表 2. 大阪府全数報告数(2022年 第50週12月12日~12月18日)

注意:この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ> 【週報】> 全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 ( )内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	18			2	2				14	200
4類感染症	デング熱	1								1	14
4 規念采加	レジオネラ症(肺炎型)	1								1	108
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3		1	1	1					151
	後天性免疫不全症候群	1								1	89
5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	1					1				102
	水痘(入院例)	1								1	17
	梅毒	16	1		1					14	1,692
新型インフルエンザ等感染症	型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症		2020年1月以降累計 2,415,324								
 結核	結核 新登録患者数:47名 (内 肺·喀痰塗抹陽性 24名)										
(2022年10月分)	分) (府内累積報告数 859名、内 肺・喀痰塗抹陽性 331名)										

(2022年12月20日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。 詳細はリンク先の『令和2年11月1日まで』と『令和2年11月2日以降』をご覧ください。